

「IT補助金」対象ツールに

クラシテ「osumait」 マンション会計システム

マイズし利便性を高めている。

クラシテ(本社東京)は10月15日、同社が提供するマンション管理DX支援サービス「osumait」が、中小企業庁の「IT導入補助金2025」の対象ツールに認定されたと発表した。

同補助金は、中小企業や小規模事業者の業務効率化や生産性向上を目的に、ITツール導入を支援する制度。認定を受けたことで同サービス導入に当たって、条件を満たす事業者は補助金の交付申請が可能となる。

クラシテに加え、決算書など各種帳票に自動反映・出力ができる。既存の会計システムを基に、便利な機能を追加カスタマイズし利便性を高めている。

サンネクスタグループ・総務グループはサービスの導入費用や補助額について「マンションの規模や導入条件などによってもさまざなため、一概に言えない」としている。

「osumait」のシステム群のうち、「マンション会計システム」。管理組合の契約情報や会計の入力と締め処理

対象となるのは「osumait」のシステム群のうち、「マンション会計システム」。

マンション管理新聞

2025年10月25日 1317号

36面より抜粋